

第44回

APCO SPARK II



大きな収納スペースを確保、カラーの切り返しがあくせつになっている。

話題のハーネスを
スミからスミまで徹底チェック!
小貝隊長の

ハーネス 研究所

研究所のモットーは、微に入り細に入り!
その特徴や使い勝手はもちろんのこと、
メーカーのコンセプトやこだわりも加味して
ターゲットとするハーネスを丸裸にしちゃうぞ!

スパーク2

- カテゴリー：オールラウンド
- プロテクション：フォームプロテクション
- 安全装置：Tバックル
- 重量(カラビナ含む)：3.9kg (S/M) *
- サイズ：S/M (~170cm)、L/XL (170-185cm)、
XXL (180cm~)
- カラー：レッド、ライム、ターコイズ、オレンジ
- 付属品：サイドプロテクター
- 価格：¥96,000 (税別)

問い合わせ先

アウトバーン

TEL: 090-3240-3563

<http://www.outbahn.com/>

ユーザビリティを随所に盛り込んだ 気の利いたオールラウンドハーネス

新鮮な感性を吹き込む
新世代アプコへ

1974年にプロトタイプハンググライダーで初フライトを成功させた旧ソビエト連邦出身のアナトリー・コーンが、1982年にイスラエルで創業したのがアプコアビエーションだ。当初はヨーロッパブランドの製造工場として活動していたが、1989年に最初のモデル「スピードスター」をリリースしパラグライダーメーカーとしての歴史をスタートさせた。

1900年代にはアプコのパラグライダーはクロスカントリー記録を連発、ここ数年はパラモーターの競技会で目立った活躍してきた。アプコの製品作りの哲学は、安全性と飛行性のバランスを追求しながら丈夫で寿命の長いということにこだわってきた。

長らくアプコを率いてきたアナトリー・コーンが第一線から退き、現在は息子のジョナサン・コーンがアプコを率い新鮮な感性を注入している。その表れとして日本市場では、パラモーター部門をラ・ムエッティに、パラグライダー部門は新たにアウトバーンをビジネスパートナーとして選び、パラグライダー部門の強化を図っている。

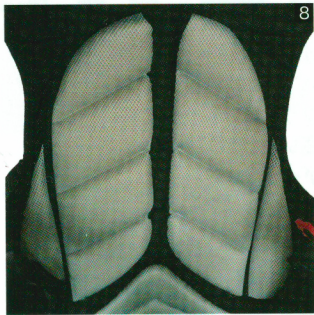
ハーネスも自社工場が生産。エアロダイナミックフォルムを追求したポッドハーネスの「スイフトR」を筆頭に、ムースのオールラウンドハーネス「スパーク2」、軽量ムースハーネス「エッジ2」、エアバッグとムースのハイブリッドハーネス「リトマ」、オールインワンハーネス「チエアバッグ5」、軽量リバーシブルハーネス「ハイイク」、スクール講習用ハーネス「ファースト3」、タンデムパイロットとタンデムパッセンジャーハーネスに加えパラモーターやトライク用など16モデルを揃える。



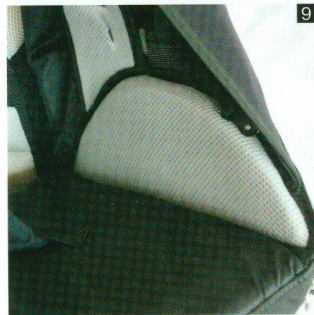
12



13



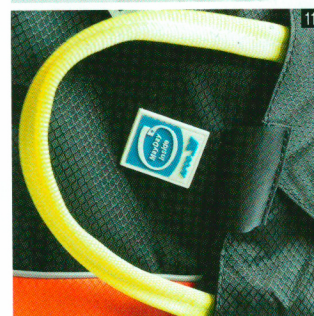
8



9



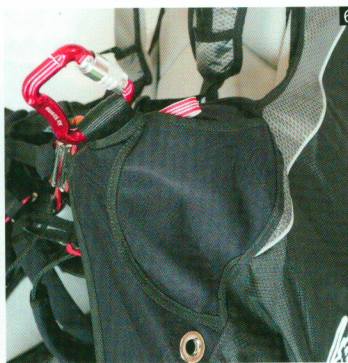
10



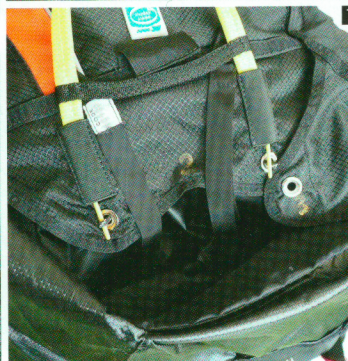
11



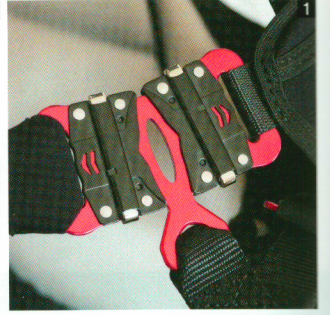
5



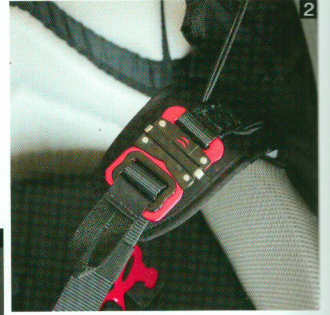
6



7



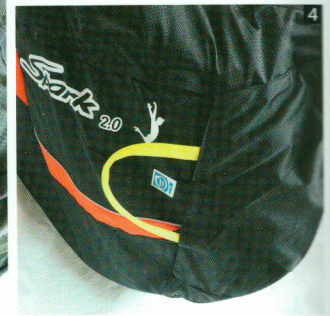
1



2



3



4

1 Tバックはジュラルミン性の軽量オートマチックバックル(25mm)。2 レッグベルトのカラビナも同じ軽量オートマチックバックル。大腿に当たる部分にはパッドを取り付けているのが親切だ。3 チェストストラップの調節はスムーズで、40~55cm幅で調整できる。4 シートプレート下にレスキューパラシュートコンテナをレイアウトしている。5 Tバックルセーフティーシステムを採用。左右のカウリングが整流効果を高めてくれる。6 左右のカラビナ付近の使いやすい位置にネオプレーン製のポケットを配置する。7 フラップはパッドを入れず布地だけで構成し、折り紙のようにフラップを重ね合わせる構造だ。8 しっかりパッドが入ったバックプレートは、ブロックで分け熱が抜けやすいように配慮している。9 サイドパネルにもしっかり厚手のパッドを入れ、サポート性を高めてくれる。10 バックパックの上蓋にはアクリルのガイドが縫い込まれ、常にシャープな形状を保つ。11 レスキューパラシュートコンテナ部分には、洒落たパッチが縫い込まれている。12 通常のムースプロテクションに加え、高強度ポリカーボネイトプレートが点の衝撃でも面に変えてくれる。13 サイドプロテクターも標準装備。ファイバーで表面をコーティングし、強度を高めている。

サイドプロテクターを標準装備

アブコのハーネスラインナップの中で中心的なポジションにあるのが「スパーク2」で、好みのポジションに設定することができる。シンプルなTバックルのセーフティシステムを採用、フォームプロテクションに加えレキサンプレートというポリカーボネイト製の板を組み合わせて使用する。これにより点の衝撃に弱いフォームプロテクションの弱点を見事にカバーしている。さらに標準で左右のサイドプロテクターを装備しているが、必要がなければ取り外すこともできる。

シートプレート下に配置したレスキューパラシュートコンテナは、大きめのレスキューパラシュートでも収納できるスペースがあり、フラップは折り紙のように重ねて閉じるユニークな構造。ハーネスのバックプレートやサイドパネル、シヨルダーストラップは厚手のパッドとメッシュ素材のソフトな感触が優しい。レッグストラップはしっかりパッドでカバーするなど、パイロットの気持ちを理解した製品作りが随所にじみ出ている。何よりもサイドプロテクターを標準装備しているのは、初めてハーネスを購入するユーザーにも嬉しい。

カラビナが自由に選べるオプション扱いになっているほか、ブライダルコード、スピードバーなどもオプション対応なのは、リーズナブルな価格を実現する配慮。

数あるパラグライダーメーカーの中にあってアブコは決して派手な存在ではないが、まじめな製品作りゆえ、世界中で広く愛されている定番ブランドとして独自のポジションを築いてきた。そして新世代にバトンタッチしたアブコが、どんな変革を見せるのか楽しみなどころだ。